

みずほCustomer Desk Report 2022/08/17号(As of 2022/08/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	133.20
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.12	1.0159	135.35	1.2050	0.7018
SYD-NY High	134.68	1.0195	136.88	1.2118	0.7040
SYD-NY Low	132.95	1.0123	134.95	1.2008	0.6992
NY 5:00 PM	134.26	1.0172	136.51	1.2098	0.7024
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,152.01	239.57	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	13,102.55	▲ 25.50	日本10年債	0.1700%	▲0.0100%
S&P	4,305.20	8.06	米国2年債	3.2668%	0.0732%
日経平均	28,868.91	▲ 2.87	米国5年債	2.9607%	0.0549%
TOPIX	1,981.96	▲ 3.00	米国10年債	2.8068%	0.0145%
シカゴ日経先物	28,970.00	80.00	独10年債	0.9765%	0.0765%
ロンドンFT	7,536.06	26.91	英10年債	2.1225%	0.1030%
DAX	13,910.12	93.51	豪10年債	3.2520%	▲0.1360%
ハンセン指数	19,830.52	▲ 210.34	USDJPY 1M Vol	10.43%	0.33%
上海総合	3,277.88	1.80	USDJPY 3M Vol	10.29%	0.20%
NY金	1,789.70	▲ 8.40	USDJPY 6M Vol	9.92%	0.15%
WTI	86.53	▲ 2.88	USDJPY 1M 25RR	▲0.30%	Yen Call Over
CRB指数	287.67	▲ 1.87	EURJPY 3M Vol	11.68%	0.16%
ドルインデックス	106.50	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	11.44%	0.09%

東京	東京時間のドル円は133.12レベルでオープン。昨日の中国や米国で発表された経済指標が低調だったことによるリスクオフの流れの継続から一時132.95まで下落。その後は特段の新規材料がないものの、クロス円の反発とともにドル円も133円台前半で底堅く推移し133.33レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.33レベルでオープン。米金利の上振れでドルが全面高。独8月ZEW期待指数が予想を下回ったことも拍車をかけたか。ドル円も買われ134.47まで上昇し134.40レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台半ばでスタート。東京時間では仲値にかけて売りが強まり、一時132.95まで下押しするが、売りは長続きせず、すぐに133円台を回復。その後、米短期金利の上昇やクロス円の買いにサポートされ、右肩上がりで上昇。早朝には米小売大手の四半期決算が予想以上に良好な結果だったことが好感され買いが加速し、134.47をつけ、134.40レベルでNYオープン。朝方は米7月住宅着工件数が予想以上に悪化するも、特段ドル売りには繋がらず、米長期金利の急上昇を眺めながらの買いが進み、134.68まで上昇。その後、高値圏でもみ合うが、対ユーロやポンドのドル売りが波及すると、上値が重くなり、134.40近辺まで反落。午後は米株や米金利の上げ幅縮小が上値を圧迫。134.19まで下落後、結局、134.26レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.01台半ばでのレンジトレードでスタートするが、欧州勢参入後は売り優勢となり、1.0123まで下押しするが、欧州株やクロス円の堅調推移にサポートされ、その後は下げ渋り、1.0128でNYオープン。朝方は米金利上昇には特段反応せず、ユーロのショートカバーが強まり1.0195まで上昇するも、滞空時間は短く、すぐに1.0170近辺まで反落。午後は方向感乏しく推移し、結局、1.0172レベルでクロス。

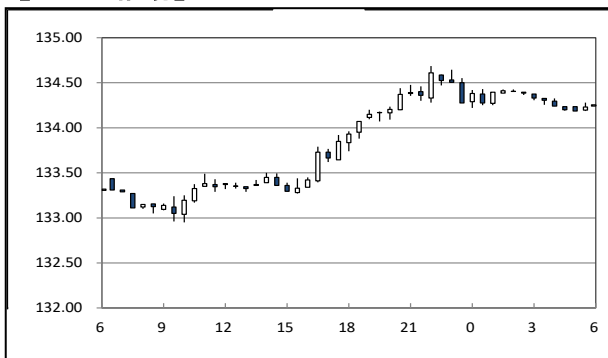
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月16日	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	6月 4.7%	4.5%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	8月 -47.6/-55.3	-49.0/-52.7
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月 -54.9	-
	21:30	米 住宅着工件数	7月 1446k	1527k
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数(前月比)	7月 -9.6%/1674k	-2.1%/1640k
	22:15	米 鋳工業生産(前月比)	7月 0.6%	0.3%

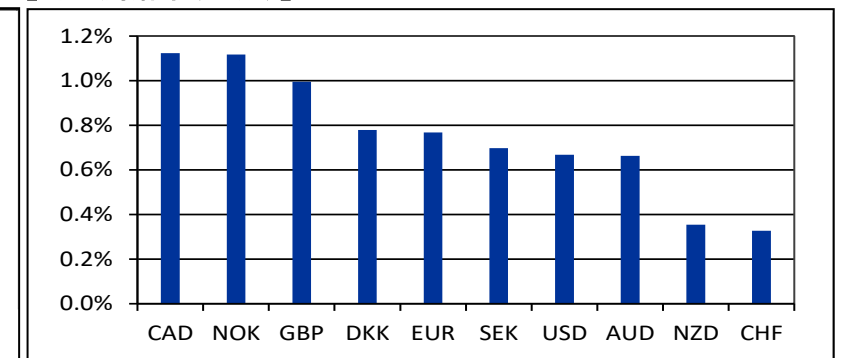
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月17日	15:00	英 CPI(前月比/前月比)	7月 0.4%/9.8%	0.8%/9.4%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	7月 5.9%	5.8%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.7%/4.0%	0.7%/4.0%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	7月 0.1%	1.0%
	22:30	米 ボウマンECB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-135.60	1.0100-1.0250	135.50-138.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇。東京時間のドル円は133.12レベルでオープンすると前日の流れを継ぎ継ぎ132.95まで下落も、売りに巡後は新規材料がない中133円台前半で底堅く推移。海外時間に入り、米短期金利の上振れやクロス円の買い、米小売大手であるウォルマートの好決算に支えられドル円は134.68まで上昇。その後、米金利や米株式相場が上げ幅を縮小させるとドル円は上値重く推移し134.26レベルでクローズした。

本日のドル円は堅調な展開を予想する。本日は米7月小売売上高や米小売大手であるターゲットの決算に注目したい。昨日発表されたウォルマートの好決算に続いて、米GDPの6割超を占める個人消費の堅調さが確認されれば、景気後退懸念が後退し、ドル円の上昇圧力になると予想する。尚、FOMC議事要旨の発表も控えているが、前回のFOMC以降、経済指標の結果を意識した相場変動が続いており、目新しい情報がなければ影響は限定的となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・西